

令和元年 8 年 23 日

## 令和元年度学校関係者評価委員会報告書

学校法人郷学舎  
アルスコンピュータ専門学校  
学校関係者評価委員会

自己点検評価委員会が作成した平成 30 年度自己点検・評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を実施しました。令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

### 記

#### **1.開催日時**

令和元年 8 月 21 日（水）

15 : 00～17 : 00

#### **2.場所**

アルスコンピュータ専門学校 101 教室

#### **3.学校関係者評価委員**

##### **<関連業界関係者>**

藤間 憲一 氏（熊谷商工会議所会頭 株式会社オキナヤ代表取締役社長）

野中 仁一 氏（学校法人浅見学園理事長三尻こども園、三尻幼稚園、三尻保育園 園長）

\*当日欠席の為、事前に説明及びヒアリング実施

大島 匡 氏（医療法人くぼじまクリニック事務長）

##### **<教育関係者>**

中村 克彦 氏（元深谷市教育委員会教育長）

##### **<地域代表>**

木村 美知子 氏（木村社会保険労務士事務所所長 特定社会保険労務士）

##### **<保護者代表>**

吉田 初世 氏（在校生保護者）

##### **<卒業生代表>**

隅田 和利 氏（第 5 期卒業生）

### <事務局(学校側)>

- 山崎 彰 (学校法人郷学舎理事長)  
荻野 欣男 (アルスコンピュータ専門学校校長)  
新井 公一 (アルスコンピュータ専門学校副校長・企画室長)  
正田 淳一 (アルスコンピュータ専門学校教務部部长)  
戸川 千詠子 (アルスコンピュータ専門学校教務部学科長)  
籠原 智恵 (アルスコンピュータ専門学校教務部学科長)  
長瀬 あゆみ (アルスコンピュータ専門学校教務部副学科長)  
田口 紀子 (アルスコンピュータ専門学校総務部副主任)

## **4.学校関係者評価委員会 次第**

1. 開会
2. 学校関係者評価委員の委嘱
3. 委員紹介
4. 理事長挨拶
5. 校長挨拶
6. 委員長の選出
7. 協議【中村委員長により議事の進行が行われた】
  - ①学校関係者評価委員について
  - ②学校基本情報と近況について
  - ③H30年度自己点検評価結果について
  - ④意見聴取
  - ⑤その他
8. 閉会

## **5.学校関係者委員会報告**

～各項目に関する学校関係者評価委員の評価・意見～

### **重点目標①②について**

- 今後、『地域貢献』を次のステップに繋げるには、地域社会との関わりの中で継続し、双方に必要となる仕組みを構築していく事が鍵になると思う。
- 今後、市内の小中学生が減少していく中で、教育施設の統廃合とそれに伴う新たな教育提供の仕組みが検討されている。地域の課題とされている中でも新たな教育ニーズが生れてくることがあるので、専門学校教育のノウハウが活きることもあると思う。

### **基準1. 教育理念・目的・育成人材像**

- 『育成すべき人材』のヒントとして、卒業生からのフィードバックも大切だと思う。

## **基準2. 学校運営**

- 2-6-1の『意思決定システムの整備』の評価が厳しすぎないか。  
→本校の現状として、全ての意思決定は原則書類決裁で行われている。(担当者→部門責任者→副校長→校長→理事長の順で決裁される。)重要案件については稟議書による決裁を行い、稟議書は番号管理され金庫に保管されている。これらは、学内で徹底され当たり前になっている為、あえて規則や規定などで文書化していないというのが現状である。その為、意思決定の仕組みとしては問題ないと思われるが、自己点検のチェック項目には『規則・規定等で明確にしているか』とあるため、最高点の評価はつけていないという状況である。本校では今後、第三者評価の受け入れも考えており、あえて厳しめの評価を行っている。

## **基準3. 教育活動**

- 御校の卒業生で、本院(医療グループ)では初めて、事務部門の女性管理職になった者がいる。目標とする検定等の中に医療経営士の資格も検討してみてもどうか。

## **基準4. 学修成果**

- 特に技術職の場合、就職先で最低限必要とされる水準まで技術レベルを上げておく事で、その後の定着率にも繋がるのではないか。

## **基準5. 学生支援**

- 学校側の取り組みや努力が良く分かった。学生アンケートを行っているとの事だが、保護者へのアンケート調査等はあるのか。  
→アンケートの内容や回収率なども踏まえて検討させていただきたい。
- 学生のメンタル面に対してどのような取り組みを行っているか。  
→アンケート調査や性格診断テストなどを行い、学生ひとり一人の状況を可能な限り把握し、小さな変化も見落とさないよう注意している。また、毎週の定例会議においても教職員間で情報を共有するよう努めている。更に外部の研修会なども活用し、対応する教員のレベルアップもはかっている。

## **基準6. 教育環境**

- 特になし

## **基準7. 学生募集と受入れ**

- 学生募集が好調なコースは教育の質を落とさないよう努力し、定員を満たしていないコースについては少人数教育で教育の質を高めるチャンスだと思って頑張ってもらいたい。

## **基準8. 財務**

- 特になし

## **基準9. 法令等の遵守**

- 自己点検評価はどのように行われているのか。  
→本校の自己点検評価委員は本校規程に基づき、各部署から選出された者で構成されている。委員は自己点検評価チェック項目に沿って一つずつ評価を行い、その後委員全員で評価結果の確認を行っている。最終的には委員会の総意として自己点検評価報告書を作成している。

## **基準 10. 社会貢献・地域貢献**

- 重点目標②参照。

### **<学校関係者評価委員会総括>**

学校関係者評価委員会として、平成 30 年度自己点検評価報告書の内容について確認及び承認を行いました。

以上

### **<学校関係者評価委員会からのご意見を受けて>**

委員の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、地域に根差した専門学校として使命感をもって教育活動をすすめてまいります。『地域貢献』については、本校が教育機関としての特長を活かしつつ、継続して地域社会と関わっていく仕組みづくりを検討していきたいと思っております。